

授業科目名	【G】 社会科・公民科指導法Ⅳ	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2		
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための選択必修科目(中一種免社会)、必修科目(高一種免公民)						
施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)							
サブタイトル	高等学校公民科教育の理論と実践			担当者	小松 伸之			
授業概要	概要	<p>【実務(中学・高等学校教諭)経験を活かした授業】 中学校及び高等学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。</p> <p>【概要】 高等学校公民科教育について理論と実践の両面から取り上げ、大きく3点学ぶことをねらいとする。まず、学習指導要領に示された目標と資質・能力や内容等を学習することで公民科の概要をつかみ、さらに教科書の内容との結びつきを確認することで内容理解を深める。あわせてデジタル教科書の操作やICTの活用を組み合わせ教材研究の一助とする。次いで、学習指導案の基本的な作成方法を学び、授業の流れをイメージした組み立てができるようにしていく。そして、模擬授業づくりを行って授業の組み立て方を身につけるとともに、模擬授業の実践や参加者による授業分析を行うことで、社会科・公民科教員として求められる実践的なスキルを養う。なお、教科内容に関する基礎学力向上のために、随時小テストを実施する。</p>						
	到達目標	<p>○学習指導要領における高等学校公民科の目標や内容等について理解することができる。</p> <p>○学習指導案の基本的な作成方法を身につけて実践することができる。</p> <p>○基本的な授業づくりの方法を身につけて、模擬授業を実践することができる。</p>						
履修条件	「社会科・公民科指導法Ⅰ」を履修済みの者。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【○】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	教育実習事前事後指導(3年・4年)、教育実習Ⅰ・Ⅱ(4年)							
教科書	田部俊充・田尻信彦・小松伸之編著『大学生のための中等社会科・地理歴史科・公民科概論』風間書房 文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 公民編』 高等学校公民科教科書(授業で指示する)							
参考書	文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』 日本公民教育学会編『新版 テキストブック公民教育』第一学習社 日本社会科教育学会編『社会科教育事典 第三版』ぎょうせい, 2024							
評価方法	学習到達度の確認・小テスト(25%)、模擬授業及び振り返りレポート(25%)、学習指導案(20%)、毎時のワークシート(30%) ※出席は評価の前提条件となる。また、受講者には授業への積極的な参加を求める。							
フィードバック方法	課題やレポートへのコメント、模擬授業へのコメント							
評価基準	授業内容についてよく理解して学習指導案をまとめ模擬授業を実践できた者に「S」または「A」を与える。学習指導案や模擬授業に不十分な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、取り組む姿勢が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。また、6回以上欠席するなど判定不能な者は「F」とする。							

授業科目名	【G】 社会科・公民科指導法Ⅳ	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
授業回数	授業内容					
1	高校とは、高校生とは、高校教員に求められる資質					
	予習： 教育経験の振り返り		復習： 授業内容についての復習			
2	学習指導要領の理解①(前文、総則、総説、公民科の目標と資質・能力)					
	予習： 学習指導要領の読解		復習： 学習指導要領の読み返し			
3	学習指導要領の理解②(「公共」の目標と資質・能力、内容と内容の取扱い等)					
	予習： 学習指導要領の読解		復習： 学習指導要領の読み返し			
4	学習指導要領の理解③(「倫理」の目標と資質・能力、内容と内容の取扱い等)					
	予習： 学習指導要領の読解		復習： 学習指導要領の読み返し			
5	学習指導要領の理解④(「政治・経済」の目標と資質・能力、内容と内容の取扱い等)					
	予習： 学習指導要領の読解		復習： 学習指導要領の読み返し			
6	学習指導要領の理解⑤(中学社会科と高校公民科の比較、「公共」と「現代社会」の比較)					
	予習： 比較対照表の読解		復習： 比較対照表の読み返し			
7	教科書分析とICTを活用した教材研究①(「公共」)					
	予習： 図書館における公共教科書の調査		復習： 教材研究の深化			
8	教科書分析とICTを活用した教材研究②(「倫理」)					
	予習： 図書館における倫理教科書の調査		復習： 教材研究の深化			
9	教科書分析とICTを活用した教材研究③(「政治・経済」)					
	予習： 図書館における政治・経済教科書の調査		復習： 教材研究の深化			
10	学習指導案の作成①(学習指導案の構成を学ぶ)					
	予習： 学習指導案の読解		復習： 学習指導案の読み返し			
11	学習指導案の作成②(学習指導案を読み込む)					
	予習： 学習指導案の読解		復習： 学習指導案の作成			
12	模擬授業と相互批評①(「公共」)					
	予習： 模擬授業の準備		復習： 模擬授業の振り返り			
13	模擬授業と相互批評②(「倫理」)					
	予習： 模擬授業の準備		復習： 模擬授業の振り返り			
14	模擬授業と相互批評③(「政治・経済」)					
	予習： 模擬授業の準備		復習： 模擬授業の振り返り			
15	学習到達度の確認、総括					
	予習： 授業内容についての総復習		復習： 理解が不十分な点についての確認			
その他	授業ごとの予習・復習時間は、各120分程度を目安とする。					